

知床における主要協議会等の連携の強化について

1. 背景

知床では、各種課題に対応するために様々な会議および協議会等が設けられ、行政機関や専門家、地域関係者によって協議、合意形成が行われている。しかし、これらの協議会等の参加者は重複している場合が多く、参加者にとっても負担となっている。一方、既存の協議会などでは議論の枠組みが無いが、重要な検討課題として指摘されるものもある。知床における様々な協議会等の連携の強化を図り、効率的な合意形成を図るとともに、統一的な方針・方向性を共有して議論することが必要と考えられる。

2. 既存の協議会等の役割分担

< 地域との連携・協働のための会議 >

知床世界自然遺産地域連絡会議

設置目的：遺産地域の適正な管理のあり方を検討するとともに、効果的な保全管理、普及啓発等を推進するため、関係機関の連絡・調整を図る。

メンバー：地域関係団体12者、オブザーバー4者、事務局

知床世界遺産施設等運営協議会

設置目的：世界遺産センター、ルサフィールドハウス、羅臼ビジターセンターの管理運営及び施設を活用した情報提供や利用ルールの普及、普及啓発、調査研究の推進等を行うにあたり、その取組が効果的に実施されるための協議を行う。

メンバー：地域関係団体17者、事務局

< 科学的な助言を得るための会議 >

知床世界自然遺産地域科学委員会

設置目的：世界自然遺産に登録された知床の自然環境を把握し、科学的なデータに基づいて陸域と海域の統合的な管理に必要な助言を得るための、学識経験者による委員会。WG等として、エゾシカ・陸上生態系WG、海域WG、河川工作物AP、適正利用・エコツーリズムWG、ヒグマ保護管理方針検討会議、希少猛禽類の保全とエゾシカ対策の実施に関する意見交換会を設置。

メンバー：専門家、地域関係団体5者、事務局

< 適正な利用の推進に関する会議 >

知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議

設置目的：遺産地域の適正な利用およびエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含

む原生的な自然環境を後世に引き継ぐため、学識経験者、関係行政機関、地域関係団体による検討会議を設置。

メンバー：専門家、地域関係団体 20 者、事務局

知床エコツーリズム推進協議会

設置目的：平成 16 年度から開始された「知床エコツーリズム推進モデル事業」において、地域の意見を汲み上げながら、知床型エコツーリズムの検討を行うために協議会を設置。

メンバー：地域関係団体コアメンバー 7 者、ワーキングメンバー 20 者、事務局

知床五湖の利用のあり方協議会

設置目的：知床五湖地区の自然環境の維持と多様な利用者への適切な利用機会の提供を図るために具体的な利用調整の計画を検討するため協議会を設置した。

メンバー：地域住民代表、地域関係団体 12 者、関係行政機関 3 機関、事務局

カムイワッカ地区自動車利用適正化対策連絡協議会

設置目的：夏期時期の道道知床公園線の「知床五湖～知床大橋」間のカムイワッカ方面について、特に入り込み車両が増大する実態があり、自然環境の保全と快適な利用環境の確保、更には交通事故の防止措置として「自動車利用適正化対策」の導入を検討するために設置された。

メンバー：地域関係団体 12 者、関係行政機関 8 者、事務局

カムイワッカ湯の沢利用対策連絡協議会

設置目的：カムイワッカ湯の沢における利用者の安全確保と適切な利用を図ることを目的として設置された。

メンバー：地域関係団体 1 者、関係行政機関 3 者、オブザーバー 3 者、事務局

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会

設置目的：ウトロ海域での減少が確認されている、ケイマフリ等の海鳥の保護と持続可能な海域利用の両立をはかるための方策を検討すること目的とし平成 21 年度に懇談会を設置した。平成 22 年度より適正利用・エコツーリズム検討会議の個別会合として検討会を開催する予定。

メンバー：専門家、地域関係団体 6 者、関係行政機関 2 者、オブザーバー 2 者、事務局

< 森林の再生に関する会議 >

知床永久の森林づくり協議会

しれとこ 100 平方メートル運動地森林再生専門委員会議

設置目的：100 年以上先を見すえた森林再生計画を立案するために、植物生態や野生動物な

どの専門家、地元の有識者から組織された会議。

メンバー：専門家、オブザーバー 9 者、事務局

<その他関係する会議>

知床ガイド協議会

設置目的：知床の価値をいっそう高めるとともに利用者に満足を得てもらうために、ガイド事業を行う者が連携して「知床ガイド協議会」を設立した。

メンバー：主に斜里町、羅臼町にて活動するガイド事業者等 19 者

羅臼町・知床世界自然遺産協議会

設置目的：知床半島を形成する羅臼町が地域住民と一体となって、羅臼地域としての意見を各種関係会議及び関係機関等へ反映する。

メンバー：地域関係団体 12 者、事務局

3. 今後の方向性

知床世界自然遺産地域連絡会議と知床世界遺産施設等運営協議会については、構成員や役割が類似しているため、当面は同日に連続して開催することとしたい。将来的には地域連絡会議において、施設の運営に関する議論を行うことも検討する。

適正な利用の推進に関する会議については、既存の協議会等は、それぞれの協議会の性格を考慮しつつ、本年度中をメドに適正利用・エコツーリズム検討会議との連携・統合を図ることとしている。